



備前市

# ICT 活用事例集


タブレットワンポイント活用編

備前市 ICT 活用推進協議会


平成27年度

～


平成28年度

校種・学年	小学校 3年
教科・単元・時期	国語科 修飾語を使おう！～よく分かる文のひみつをさがそう～ (中心教材「修飾語」) 10月下旬(教科書下P26～27)
主な機器・ 形態・ソフト	デスクトップPC テレビモニタ タブレットPC(授業者・児童各一台) スカイメニュー
ICT 活用の利点	思いや考えを伝えるために、どの箇所に、どのようなことを表わす語句(修飾語)が入ればよいか、また分かりやすい文とはどのようなものかを、視覚的にとらえることができる。
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子(写真等)
	<p>【活用場面】修飾語の使い方の習熟</p>  <p>児童一人一人のタブレットPCへ、「主語」「述語」「修飾語」を組み合わせた短文を記したワークシートを配付し、「修飾語」を見付け出す活動を設定した。</p> <p>児童は、短文の中から、見付け出した「修飾語」を囲んだり、どのようなこと(「いつ」「どこで」「何を」など)を表しているかを発表したりした。</p> <p>タッチペンで、小さな文字を書き込むのは難しいため、言葉の横に線を引いたり、言葉を囲んだりする方が効果的だった。</p>




校種・学年	小学校 1年
教科・単元・時期	生活 あさがおの観察 1学期
主な機器・ 形態・ソフト	タブレット PC カメラ機能
ICT 活用の利点	タブレットのカメラ機能を使う練習
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子（写真等）
	 <p>初めてタブレットを使う練習として、タブレットのカメラを使い、あさがおを撮った。</p> <p>はじめのうちは、目で見ているものと、タブレットの画像が一致しなかったり（カメラの位置がわかっていない？）、近づきすぎや、動きながら撮ったりしたので、ぶれてしまっていた。</p> <p>慣れてくると、観察したい物がよく写るように角度や大きさを工夫したり、明度も調節したりして撮れるようになった。</p> <p>低学年の子どもたちにとっては、カメラ機能を使いこなすためには、ある程度の時間が必要である。</p>




校種・学年	小学校 2年
教科・単元・時期	生活 うごくおもちゃをつくろう 11～12月
主な機器・ 形態・ソフト	タブレットPC カメラ機能
ICT 活用の利点	自分で作ったうごくおもちゃの一番の工夫点を撮影することで、自分が行った試行錯誤を振り返ることができる。
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子（写真等）
	<p>【活用場面】 一時間の振り返り</p>  <p>「速く進む車を作る」など、自分が決めたためあてに対して、一番工夫した部分をアップにして撮影させる。そうすることで、一時間、どんなことを頑張ったのか振り返ることができる。全体で、撮影した写真を使いながら活動を振り返ることで、友達の気付きや工夫を自分のおもちゃにも取り入れようと考えたり、自分の気付きと比べたりすることができる。</p> <p>工夫した部分をアップにして撮影することが難しく、思い通りに撮影するまでに時間がかかってしまう児童もいた。活用していくうちに慣れていくと思われる。</p>



校種・学年	小学校 3年
教科・単元・時期	理科 チョウを育てよう 5月～6月
主な機器・ 形態・ソフト	タブレットPC カメラ機能・動画機能
ICT 活用の利点	自分たちが育てたモンシロチョウを写真撮影することで、昆虫の体のつくりをとらえさせたり、調べる際の資料として活用させたりすることができる。
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子（写真等）
	<p>【活用場面】 観察スケッチの場面</p>  <p>昆虫のスケッチは植物と異なり、常に動いているため細部までスケッチすることが難しい。</p> <p>教科書の挿絵を元にしても昆虫の体の特徴をとらえさせることはできるが、実際に自分たちが育てた昆虫をもとに体のつくりをとらえさせたほうが、児童の興味関心を高めることができる。</p> <p>タブレットPCを使ってモンシロチョウを撮影させ、その写真をスケッチさせることで、頭・むね・はらの特徴に気付かせたり、足の本数や羽の枚数を数えさせたりといった活動ができるようになる。</p>

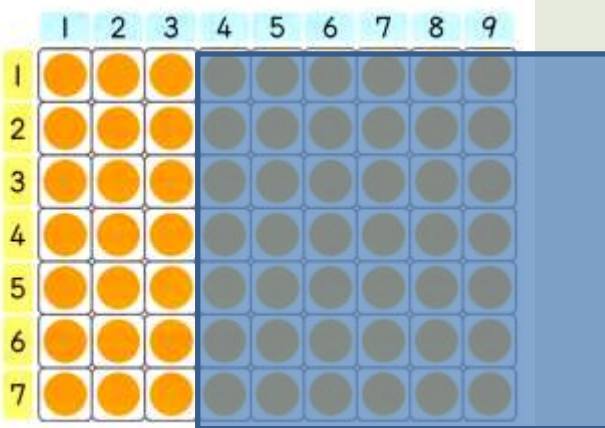



校種・学年	小学校 特別支援学級（知的） 4・5年
教科・単元・時期	算数 通年
主な機器・ 形態・ソフト	タブレットPC, ドリルパーク
ICT 活用の利点	授業後半の練習問題として, ドリルパークを行う。
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子（写真等）
	<p>授業後半, 計算練習の一環として, ドリルパークの算数を使用する。</p> 




校種・学年	小学校 5・6年
教科・単元・時期	総合的な学習の時間 国際交流 9月～1月
主な機器・ 形態・ソフト	タブレットPC（一人1台） メディアプレイヤー
ICT 活用の利点	ALTの発音を実際に映像で見て口の動きを確認することができ、さらに、音声を聴きながら発音練習もすることができる。
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子（写真等）
	<p>【活用場面】 総合的な学習の時間における国際交流で、中国の友達に「備前焼」について英語で話をするときに練習ができる環境を作る。</p> <div data-bbox="378 913 804 1167" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="804 790 1310 1167" data-label="Image"> </div> <p>&lt;活用方法&gt; ALTが発音している場面を動画で撮影する。 共有ホルダーに保存する。 個人のタブレット端末に配付し、デスクトップに貼り付ける。 持ち帰って、動画を再生しながら発音練習を行わせる。</p> <p>&lt;効果&gt; 児童が練習したいときに、タブレットを立ち上げて練習することができる。 家庭に持ち帰っての繰り返し練習が可能であり、口元の様子を見ながら耳で聞いて発音練習をすることが可能である。 児童は、耳で聞いたとおりの発音ができるようになった。そのことで、自信をもって海外（中国）の友達に英語で説明することができていた。</p> <p>&lt;留意点&gt; ある程度、メディアプレイヤーの使い方など事前の指導が必要である。</p> <p>英語以外にも活用の幅が広げられそうである。</p>





校種・学年	小学校 2年
教科・単元・時期	算数 かけ算(2) 6~9のたん 11月 教科書p24~31 (啓林館)
主な機器・ 形態・ソフト	タブレットPC (児童一人一台) 電子黒板プロジェクター スカイメニュー
ICT 活用の利点	アレイ図を提示し、マスキングシートを右に動かす操作をすることで、かける数が1増えるごとに、かけられる数ずつ増えていくことに着目させる。
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子 (写真等)
	<p>かける数が1ふえるとかけられる数だけふえていくことを、タブレットPCを操作して確かめる。</p> 
	<p>教科書に付属しているアレイ図では、9×9のアレイ図なので、7の段の学習では、 unnecessaryな8の段と9の段を下敷き等で隠す必要があり、児童にはとっては不要な手間がかかる。デジタル化をすれば、必要か所だけをトリミングして使用することができる。</p>
	





校種・学年	小学校 3・4・5・6年
教科・単元・時期	体育 ハードル走 9～10月
主な機器・ 形態・ソフト	タブレットPC（グループに1台）
ICT 活用の利点	ハードリングをする際の足の伸び方をタブレットPCで撮影することで、自分の足の伸び具合に気付くことができる。
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子（写真等）
	<p>【活用場面】 ハードリングの場面</p>  <p>ハードリングしている様子を、動画や写真で撮影させる。撮影した動画を自分で見て足の開き方に気付いたり、お互いに見合っってアドバイスをしあったりする。</p> <p>太陽の出ている日に運動場で撮影する場合は、画面の彩度を調節すると、見やすくなる。また、自分で見たりお互いに見合っったりする際には、日陰に入ると見やすくなる。</p>



校種・学年	中学校 ・ 全学年
教科・単元・時期	国語/数学(算数)/英語 ・ 基礎的な内容 ・ 月1回程度/不定期/放課後
主な機器・ 形態・ソフト	NECタブレットPC ・ 1人に1台 ・ ミライシードドリル
ICT 活用の利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人のレベルやペースに合わせて学習を進めることができる。</li> <li>○解答後自動で採点されるので、生徒が頑張った結果がすぐわかる。</li> <li>○生徒が納得のいくまで何度でも取り組むことができる。</li> </ul>
授業の実際 活用場面 活用の効果 留意点	活用場面・授業の様子（写真等）
	<p>【実施方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学力支援の必要な生徒（定期考査の結果などから判断）が、自主的に補充学習に参加している。</li> <li>○各学年5～10名程度の生徒が参加している。</li> <li>○月に2回程度、放課後実施する。テスト前期間や各学年の実態に合わせてICTを使用しないときもある。</li> <li>○漢字や英単語などの読み書き、四則計算などに取り組みさせた。</li> </ul> <p>【活用場面のようす】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【生徒の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1・2年生の復習もできるし、良いと思った。（3年女子）</li> <li>○とても分かりやすかったし、楽しく勉強ができた！（3年男子）</li> <li>○まる付けをしてくれるので、とても良かった。間違ったところを厳しくしてくれて良かった。（1年女子）</li> <li>○PCを使うと復習がはかどるのもっと使いたい。（1年男子）</li> <li>○タブレットは、いちいち消す時間も減るのでとてもやりやすい。もっとタブレットをしたいと思った。（1年女子）</li> </ul>

